

<h1>取扱説明書</h1>	<h2>プラグイン形 FA 用変換器 K・UNIT シリーズ</h2>
	<h1>ピークホルダ KH / KHS</h1>

◆◆◆◆◆

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

◆◆◆◆◆

概要

（主な機能と特長）

入力信号の最大値または最小値を保持する 入出力間非絶縁形と絶縁付を用意 密着取付可能

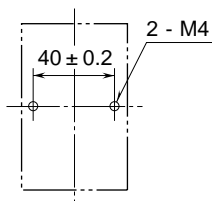
設置

設置には次のような場所をお選び下さい。

- 屋内で、周囲温度が -5 ~ +55 の場所
- 湿度が 30 ~ 90 %RH で、結露しない場所
- 雨や水のかからない場所
- 腐食性ガス、粉塵や振動のない場所

取付は、壁取付または DIN レール取付が行えます。壁取付は下図の要領で行って下さい。

取付寸法図（単位：mm）

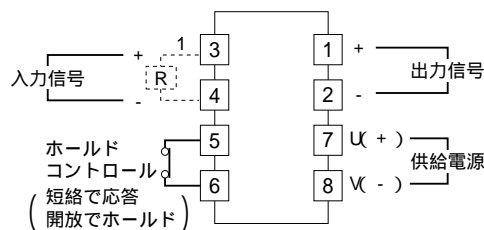


・密着取付可能

接続

各端子の接続は下図の要領で行って下さい。レベルの低い信号やインピーダンスの高い信号の配線には、シールド線またはツイスト線を使用して下さい。

端子接続図



1、電流入力時は入力抵抗器 (R) が付きます。

調整

弊社では入力に対して基準精度内に調整して出荷しております。校正するときは端子番号 - を短絡し、次の要領で行って下さい。

- 模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ZERO で出力を 0 % に合わせます。
- 模擬入力信号を 100 % 相当値に設定し、SPAN で出力を 100 % に合わせます。
- 再び、模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。
- ゼロ出力がずれているときは、 ~ の操作を繰返して下さい。

点検

- 端子接続図に従って結線がされていますか。
- 供給電源の電圧は正常ですか。
- 端子番号 - 間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。
- 入力信号は正常ですか。
- 入力端子 +、- 間に正常な電圧が現れているかテスタの電圧レンジで測定して下さい。
- また、入力と出力が対応していない場合には、端子番号 - 間が確実に短絡されているか確認して下さい。
- 出力信号は正常ですか。
- 負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器 <エム・レスタシリーズ> をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。